

効率的な情報アクセスを可能にするブラウザの開発 —使いやすさを求めて—

1. 背景

インターネット人口の爆発的増加に伴い、インターネット上の情報も膨大なものとなった。しかし、これらの情報に効率的にアクセスする方法は確立されたとはいえず、目的の情報に到達するまでに多大な時間を要することもしばしばある。最悪の場合にはインターネット上に目的の情報が存在するにもかかわらず、そこに到達できないといった事態を引き起こす。この非効率性を補うものとしてインターネット検索エンジンが登場し、年々その検索精度を増している一方、クライアント側のソフトウェアであるインターネット閲覧ツール(以下ブラウザ)はこれら膨大な情報にアクセスする快適な手段をいまだ提供できていない。

2. 目的

我々は、メタ情報を含むインターネット上の情報を最大限に活用することにより、効率的に目的のデータへアクセスできる機能を有したブラウザ「風博士」を開発した。

3. 開発の内容

3-1. 動作環境

- ・各種 Linux ディストリビューション、各種 BSD

3-2. 機能

3-2-1. 履歴内全文検索

一度見たページの内容を全て保存しておくことで、その内容を対象とした検索が可能になっている。検索用のインデックスを作成しているため検索結果の表示は瞬時に行われる。

図. 1 は『IPA』をキーワードに検索した結果画面である『IPA』を含むページ内容のサマリとそのページのサムネイルがサマリの左側に表示されている。サムネイルに関しては次の3-2-2で述べる。

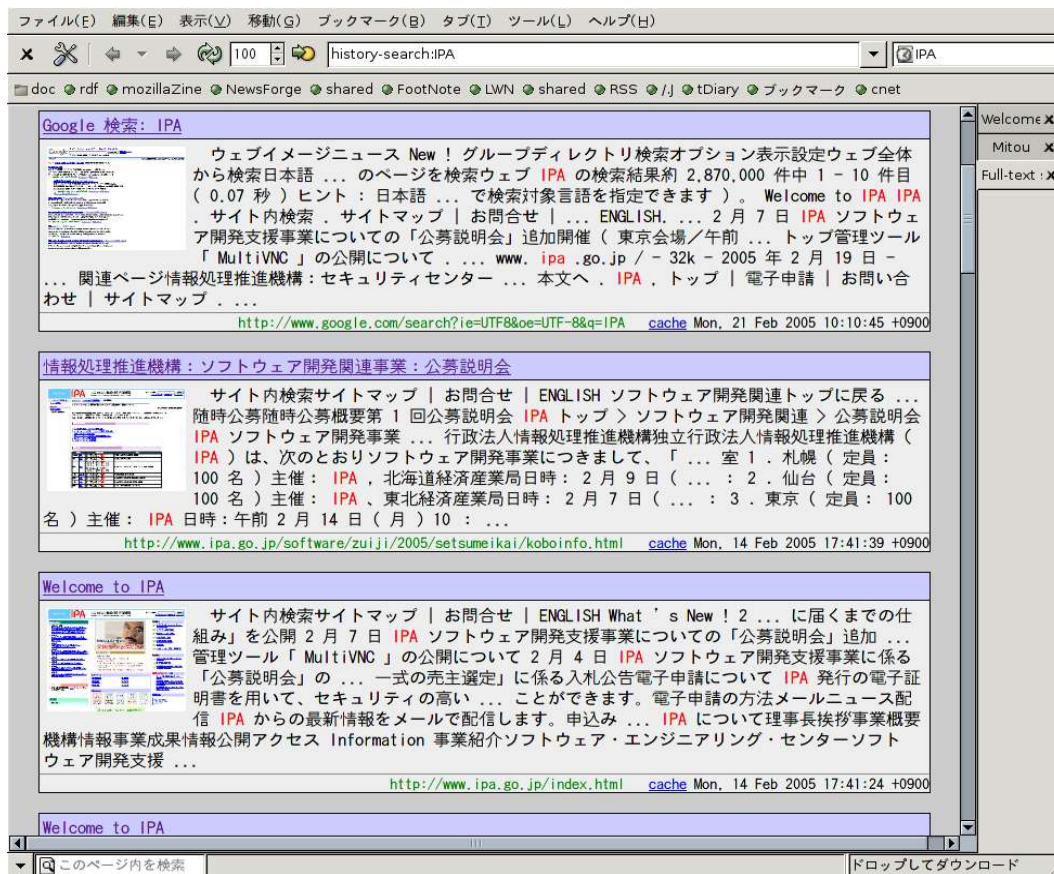


図. 1

3-2-2. サムネイル表示

各ページのサムネイルを作成し、それらをさまざまな局面で表示することにより、ユーザーの使い勝手を向上させている。上記した履歴内全文検索の結果画面はその一例である。

図. 2の左端に縦に並んでいるサムネイルは、閉じたタブのサムネイルである。一度閉じてしまったタブをもう一度開こうとした時にも、このような視覚的な情報のおかげでユーザーが目的とするページが判別しやすくなっている。

図. 2の画面中央に横に並んでいるサムネイルは、現在開いているタブのサムネイルである。



図. 2

4. 従来の技術(または機能)との相違

従来のブラウザにはなかった機能として、上記した

1. 履歴内全文検索

2. サムネイル表示

の二つが挙げられる。

5. 期待される効果

特になし

6. 普及(または活用)の見通し

・ソースコードのダウンロード数 2005年6月15日現在

15,636

これ以外にも各種 Linux ディストリビューションに採用されているため、それらに含まれているバイナリを使用しているユーザーは未知数である。

・開発者向けメーリングリストの購読者数 2005年6月15日現在

48名

7. 開発者名(所属)

池添浩之 (株式会社 グッデイ)

福澤俊 (株式会社 トレス・トーレス)

開発パートナー 株式会社グッデイ

(参考)開発サイトURL

<http://kazehakase.sourceforge.jp/>

[記載要領]: 開発者の方々に問題のない範囲で下記要領にしたがって記載下さい。

- 1 図表: 原則、図表は本文で引用した箇所に近い場所に添付(原稿末尾にまとめて添付することは避けてください)。

図表の前後には、空白行を1行設け「表」のキャプションは表の上に「図」のキャプションは図の下に記載。図番号・表番号はそれぞれの通し番号として記載。

- 2 ファイル名: 「契約番号(詳細)」をファイル名として保存。ex: 2004 情財第 100 号(詳細)

*参考: 平成 15 年度成果報告集 <http://www.ipa.go.jp/about/jigyoseika/index.html>